

インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによる急性呼吸器感染症です。毎年流行して多くの患者が発生し、症状が重いことから、人の健康や社会に対する影響が大きく、一般の風邪とは区別して考えるべき疾患です。

特に、小児や高齢者、慢性疾患を有するハイリスクグループの方は、症状が悪化し、時には死に至るケースもあるため注意が必要です。

インフルエンザの種類

- 季節性インフルエンザ (A/H3N2,B型)
- Aソ連型 (H1N1)
- A香港型 (H3N2)
- B型ウイルス
- 新型インフルエンザ(A/H1N1)

風邪・インフルエンザの症状

インフルエンザに感染すると、1～3日間の潜伏期間を経て、発熱（通常38℃以上の高熱）、頭痛、全身の倦怠感、筋肉痛、関節痛などが突然現れます。

その後、咳や鼻汁などの上気道炎症が続き、約1週間で治癒します。

しかし、“風邪”に比べて熱も高く全身に症状が現れるなど、症状が重く、特に高齢者や慢性疾患の患者は、肺炎などの合併症を併発し、症状が重篤となり、死亡する例もあるため、注意が必要です。

また、小児ではまれにインフルエンザ脳炎・インフルエンザ脳症を発症することがあるため、症状の経過観察をよくしておく必要があります。

感染経路

- 感染者の咳・くしゃみなどによる飛沫感染
- 感染患者の鼻咽喉分泌物に汚染されたタオル等物品を介しての間接的感染

もし、インフルエンザになってしまったら・・・

患者は、周りにうつさないようマスクをするなどの対策をとる。

高齢者、慢性疾患の患者などのハイリスクグループ、小児への感染に留意する。

※インフルエンザ罹患者は、医師の許可のもとに行動してください。

(学校の通学、歯科医院への通院等)

皆様方の予防対策

外出時には、マスクを着用し、人ごみはなるべく避ける。

帰宅したら、うがいと手洗いを励行。洗っていない手で目をこすったり、鼻をほじったりしない。

体力維持に努め、暴飲、暴食、夜更かしを避ける。

室内の湿度を適度に保つ。

流行する前に、積極的にインフルエンザワクチンの接種を受ける。